

平成21年度 川崎市くさぶえの家の管理運営に対する評価について

1 指定管理者

(1) 指定管理者	社会福祉法人川崎市社会福祉事業団(川崎市中原区小杉町3-245)
(2) 指定期間	平成18年4月1日 ~ 平成23年3月31日
(3) 業務の範囲	<ul style="list-style-type: none"> ・生活介護、自立訓練に関する業務 ・相談支援 ・くさぶえの家地域サービス事業 ・施設の利用契約に関する業務 ・管理施設等の維持管理に関する業務 ・利用者意見の把握及び事業への反映に関すること。等

2 管理運営(事業執行)に対する評価

評価項目	平成21年度管理運営の状況	評価及び指導
(1) 管理業務の実施状況		
① 施設・設備の維持、管理に関する業務	安全で快適な生活・作業環境を利用者に提供するため、整理整頓、換気、採光等の環境整備に努めた。また、清掃、給食、送迎業務については、専門業者に委託している。	専門業者に外部委託することによって、効率的かつ適切に維持管理されていることは、評価できる。
② 職員配置及び研修の状況	<p>《職員配置》 管理者1、生活支援員6、作業支援員3、事務員1、医師3(嘱託)、看護師1(兼務)、栄養士1(兼務)、療育指導相談員1(嘱託)</p> <p>《法人研修》 2回(参加人数計2人) ・人事考課研修 ・経理研修会</p> <p>《専門研修》 24回 (毎月2回、参加人数計26人)</p> <p>・スーパーバイザー会議 ・ケース会議</p> <p>《外部研修》 11回(参加人数計12人) ・発達協会実践セミナー ・自閉症実践療育セミナー ・社会福祉会計簿記研修 ・全国自閉症施設協議会札幌大会 等</p> <p>《職場内研修》 2回(参加人数計26人) ・利用者処遇研修 ・権利擁護研修</p> <p>《その他》 実習生やボランティアも積極的に受け入れている。</p>	<p>内部研修の開催や外部研修への積極的な参加によって、職員の資質の向上に取り組んでいることは、評価できる。</p> <p>実習生やボランティアの受け入れは、職員の確保や施設・地域の活性化にも有効と考えられるので、今後も継続を図ること。</p>
③ 関係機関との連携や地域とのつながり	<p>・末長こども文化センター及び町内会等と地域懇談会を開催し、施設への理解を深めた。</p> <p>・地域児童の育成を目的として、末長こども文化センターと合同祭を開催した。</p> <p>・川崎市自閉症協会、更生相談所等と連携し、利用者処遇及び継続した地域生活について協議した。</p>	関係機関との連携や地域との交流が活発に行われており、自閉症等に関する正しい知識の普及啓発活動にも取り組んでいることは、評価できる。

④ 利用者の健康管理	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での食事摂取状況の調査を行い、家庭との連携を含めた健康状態の観察を行った。肥満傾向にある利用者については、減量プログラムを提供した。 ・定期健康診断を実施し、希望者にはインフルエンザ予防接種、血液検査、眼科検診等を行った。 	定期的な健康診断や希望者への予防接種等のほかに、肥満対策にも取り組んでいることは、評価できる。																						
⑤ 安全管理への取り組み	研修や職場点検によって、職員の危機管理意識を高めるとともに、事故発生時には「くさぶえの家事故対策フロー」に基づいて迅速に対応した。	今後も安全管理を徹底し、事故を未然に防ぐよう努めること。																						
(2) 利用状況																								
① 利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・契約者数 29人(男25人、女4人) ・新規契約 2人、解約 0人 ・延べ利用日数 6,303日 	重度障害者や男性の比率が高く、定員についても柔軟に対応するなど、利用者のニーズに応じた受入れを行っていることは、評価できる。																						
② 利用者支援	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の個々の課題に個別支援計画を作成し、行動障害の改善、社会性の向上を図る支援を行った。 ・集中力、持続力を育成し、行動障害の改善を目的として、ボルコン作業、電球袋詰め等の軽作業を提供し、工賃については計5,906,740円を工賃支給要綱に基づき、利用者に公平に還元した。 	個別支援計画に基づいて、行動障害の改善に軽作業を取り入れ、実績を上げていることは、評価できる。																						
③ 給食の提供	<p>出来立ての食事を心掛け、食事指導の一環として、偏食の改善、食事マナー指導、自立訓練グループの個別化を行った。また、希望する保護者に給食の試食を行った。</p> <p>食事提供延べ件数 5,952食</p>	食事も指導の一環として取り入れており、また、希望する保護者への試食会を行い、意見を参考にしていることは評価できる。																						
(3) 収支状況																								
① 収支状況	<p>《知的障害者更生施設支援事業》</p> <table border="1" data-bbox="539 1384 991 1749"> <tr> <td>収入(授産事業除く)</td> <td>97,818,152 円</td> </tr> <tr> <td>給付費</td> <td>53,572,367 円</td> </tr> <tr> <td>利用料</td> <td>2,406,970 円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>40,117,705 円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1,721,110 円</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>76,706,881 円</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>59,009,014 円</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>3,771,127 円</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>13,564,433 円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>362,307 円</td> </tr> <tr> <td>差額</td> <td>21,111,271 円</td> </tr> </table> <p>収入のうち給付費等が57%、市からの委託料が41%。また、支出のうち人件費が77%となっている。</p>	収入(授産事業除く)	97,818,152 円	給付費	53,572,367 円	利用料	2,406,970 円	委託料	40,117,705 円	その他	1,721,110 円	支出	76,706,881 円	人件費	59,009,014 円	事業費	3,771,127 円	事務費	13,564,433 円	その他	362,307 円	差額	21,111,271 円	収支は良好で経営状態は安定している。今後も質の高いサービス水準の維持・更なる向上を図り、適切な執行に努めること。
収入(授産事業除く)	97,818,152 円																							
給付費	53,572,367 円																							
利用料	2,406,970 円																							
委託料	40,117,705 円																							
その他	1,721,110 円																							
支出	76,706,881 円																							
人件費	59,009,014 円																							
事業費	3,771,127 円																							
事務費	13,564,433 円																							
その他	362,307 円																							
差額	21,111,271 円																							
(4) その他																								
① 利用者からの要望・苦情等への対応	法人の要綱に則り、利用者が福祉サービスを適切に利用できるよう支援し、要望・苦情があったときは、「くさぶえの家苦情相談対応フロー」に基づいて迅速に対応した。	苦情解決の体制を整備し、適切に対応していることは、評価できる。																						

② 個人情報の保護	法人の「個人情報保護要綱」を基本に、くさぶえの家として「個人情報に対する基本方針」を定め、問い合わせ窓口を設置するなど、個人情報の適正な管理を行った。	内部規定を定め、適正な取扱いに努めていることは、評価できる。今後も、個人情報保護の徹底を図ること。
-----------	---	---

3 管理運営(事業執行)に対する全体的な評価

市内唯一の自閉症専門施設として、重要な役割を担っており、個別支援計画に基づいた個々の困難な課題にも積極的に取り組んでいる。また、軽作業を取り入れた利用者支援において実績をあげており、施設の管理も適切になされ、経営状態も良好である。

4 平成22年度の管理運営(事業執行)に対する指導事項等

利用者の満足度調査等を定期的に行うなど、利用者ニーズを把握し、さらなるサービスの改善につなげて、利用者主体のサービスの提供に努めること。